



1 生育概況

田植えは、概ね5月連休中に行われました。一部のほ場で植傷みが見られましたが、晴れの日が多く続いたため活着は順調で、その後の生育も順調に推移し、**茎数は前年より多くなっています。**

ひやくまん穀生育調査(5月28日現在)

	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	葉令 (葉)
大浦	22.7	6.3	123	4.6
東蚊爪	27.1	11.5	222	5.9
末	23.7	10.1	184	5.6
八田	27.4	7.3	133	5.1
七黒	24.7	11.1	193	6.0
平均	25.1	9.3	171	5.4
前年平均	25.6	6.8	123	5.6
前年比	98	137	139	96

2 活着後の水管理

- ✓ 晴れた日は浅水管理を行い、分けつの発生を促しましょう
- ✓ 分けつの発生を促進するため、時々田干しを行いましょう

以下のようなほ場は、早急に田干しを実施

① ブクブクとガスが発生している

根腐れの
危険性あり！

② 藻や表土剥離が発生している

分けつの発生が
抑制される！

3 中干しは田植え1ヶ月後から実施

- ✓ 無駄な分けつを抑制し、暑い夏に負けない稲体を作るためには中干しが重要です！今年は分けつが旺盛です。遅れずに中干しをしましょう！

5月連休中に
田植えをした場合

中干し開始の目安

6月3日頃

- ✓ 5月連休以外に田植えをした場合は
田植え1ヶ月後を目安に中干しを実施



4 病虫害防除

葉いもち	葉いもちの発生源である補植苗を早急にほ場から除去
イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	初期害虫の防除(箱施薬)をしていないほ場で、成虫や食害が多くみられた場合 トレボン粒剤 2~3kg/10a散布

5 ひやくまん穀の看板

今年も看板の配布を予定しております！
届き次第、ご自慢のほ場に設置をお願いします

※昨年の看板をお持ちの方は、そちらをご使用下さい



6 ひやくまん穀支援チーム員(窓口)の紹介

JA金沢市: 井田、中谷(営農経済部)、大西(安原)
浅川(野田)、奥(崎浦)、房本(森本)、中川(松寺)

JA金沢中央: 山田

JA石川かほく: 山崎、宮木

JA全農いしかわ: 福田

県央農林総合事務所: 杉本、松田、三門、坂下



Twitter、Facebook、Instagram
更新中♪見てネ！